

一般会計予算の主な施策

※予算額は千円未満切り捨て

新規 市制70周年・合併15周年記念事業 1399万円

八女市市制70周年・合併15周年記念事業として、福岡市内での物産展の開催や、市内の特産品をはじめとした、観光資源や伝統文化の情報発信事業を行い、県内外にPRすることで、観光客の誘致に取り組みます。

拡充 こども医療措置費（無償化分） 1166万円

小・中学生の入院外に係る医療費の自己負担が令和6年10月の診療分から無料となります。

新規・拡充事業ピックアップ

- ・交通安全事業（高齢者運転免許証自主返納支援事業）【一部新規】
- ・非常備消防総務費事業（消防団員家族応援交付金）【新規】
- ・介護人材確保事業【拡充】
- ・やめっこ未来応援金【一部新規】
- ・岡山小学校校舎等整備事業【新規】
- ・岩戸山歴史文化交流館運営事業【一部新規】

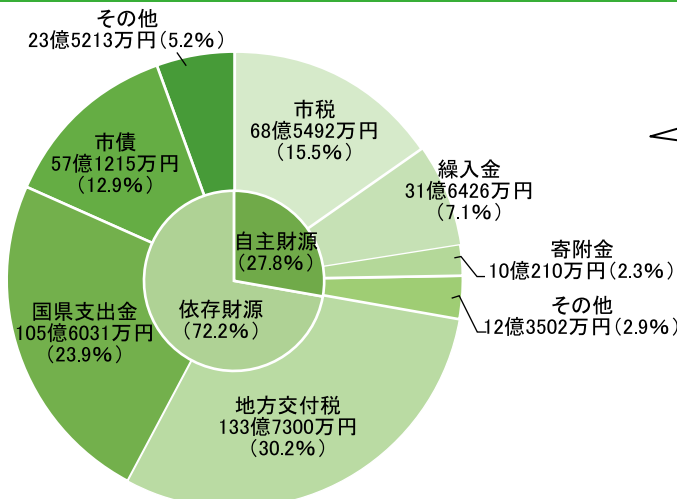
3月 定例会

3月定例会は、2月21日から3月14日までの23日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、総額442億5389万4千円の令和6年度一般会計予算案、条例改正案などが提出され、いずれも原案どおり可決・同意しました。予算は予算審査特別委員会を設置し、分科会（各常任委員会）ごとに集中的に審査しました。

また、令和6年度一般会計予算に、住民税非課税世帯等への給付金等に取り組むため、6億4434万8千円を追加する補正予算を可決しました。

（委員会審査8～9ページ／賛否表20～23ページ）

可能なまちづくりへ～



令和6年度一般会計当初予算

442億5389万円

▼令和6年度各会計の当初予算

区分	予算額
一般会計	442億5389万円
国民健康保険事業費	84億7588万円
介護保険事業費	80億5116万円
後期高齢者医療	12億9519万円
矢部診療所	6753万円
串毛財産区	80万円
木屋財産区	520万円
企業会計(水道事業)	17億4530万円
企業会計(下水道事業)	19億6152万円

令和6年度予算が成立

反対討論(要旨)
 すべてに反対するものではなく、災害対応など早急に執行すべき予算も計上されているが、慎重な審議が必要にもかかわらず、提出された予算書が訂正されるなど、議会、市民軽視であり反対する。
 (石橋 義博)

賛成討論(要旨)
 少子高齢化が進む八女市において、山積する諸課題に対処するために創意工夫された積極予算となっており、市民生活の向上と地域経済の活性化に資するものと評価し賛成する。
 (原田 英雄)

反対討論(要旨)
 すべてに反対ではないが、マイナンバーカードの利用拡大を進めるための関連予算、同和事業関連予算、水泳指導業務委託予算の計上、不登校児童生徒への対策予算が不十分であり、反対する。
 (森 茂生)

拡充 特別保育(その他)事業 (広域的保育所等利用事業) 2770万円

自宅近隣に入所可能な保育所等が見つからない児童に対し、自宅から遠距離にある保育所等への送迎を支援します。

拡充 老朽危険家屋等 除却促進事業 1500万円



生活環境の改善や安全で安心なまちづくりを推進するために、老朽危険家屋等を除却する方に対して交付する補助金を拡充します。

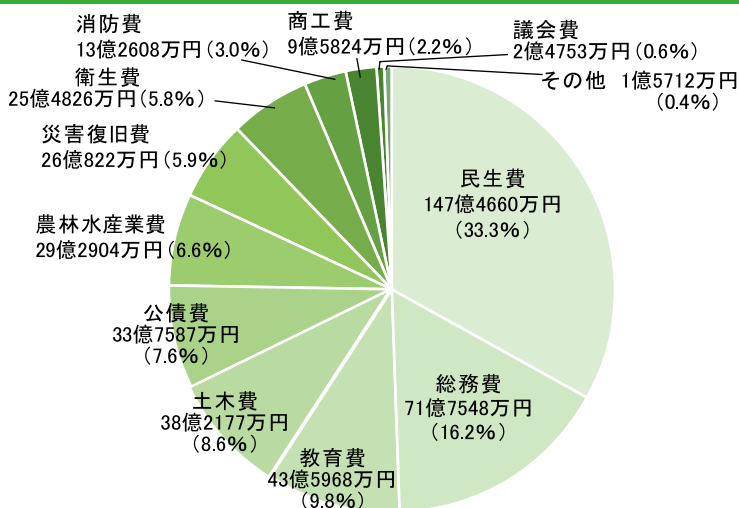
補助率： 1/3 → 1/2
 上限額： 30万円 → 50万円

～将来を見据えた持続

歳出予算用語解説

- 民生費：児童、高齢者、障がい者等の福祉に要する費用等
- 総務費：全体的な管理事務、財政・会計管理事務に要する費用等
- 土木費：道路、河川、住宅、公園など公共施設の建設整備の費用
- 公債費：借入金の元本や利子などの返済費用
- 衛生費：ごみなど一般廃棄物の収集・処理など公衆衛生の費用等

※円グラフと表は四捨五入



一般会計歳出の内訳

議案審議

条例改正

八女市個人番号の利用及び特定個人情報 の提供に関する条例の一部を改正

【概要】行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係条例を改正するものです。

反対討論(要旨)

根拠法の改正に伴う条例の改正だが、改正により、今後情報漏洩につながる可能性がある。世界

(森 茂生)

八女市ほたと石橋の館条例の一部を 改正

【概要】八女市ほたと石橋の館の再整備に伴い、施設名称等を改正するものです。

問 今までの「ほたと石橋の館」という名称から、「八女市上陽地区観光交流施設」という名称に変更する理由は。

答 条例では、「八女市上陽地区観光交流施設」となるが、施設名称を検討した際に、マーケティング

八女市ふるさとわらべ館条例及び八女市 わらべの里公園条例の一部を改正

【概要】八女市ふるさとわらべ館わらべの里研修センターが施設の老朽化により、利活用が難しくなったため、行政財産としての用途を廃止し、また市が直営で管理できるよう、条例の一部を改正するものです。

問 わらべの里研修センターの今後の活用方針は。

答 指定管理者の募集をため、令和6年4月から、施設の有効活用を検討する。

問 ふるさとわらべ館の運営を市による直営とするのはなぜか。

答 指定管理者の募集をため、令和6年4月から、会計年度任用職員を配置し、当面は市が直接管理する。

八女市介護保険条例の一部を改正する 条例の制定

【概要】令和6年度から令和8年度までの介護保険料の基準額及び保険料率の改定と介護保険法施行令等の改正に伴い、介護保険料の段階の判定基準を改正するものです。

反対討論(要旨)

今回の改正により、基準額の月額が6200円となり、制度開始当初保険料の2倍となる。特別養護老人ホームは待機者が多く、入所しても利用料が払えずに退去した方もいると聞く。保険あつて介護なしの現実の中で、値上げをすることについて反対する。

(古賀 邦彦)

八女市人権・同和教育啓発センター条例 の制定

【概要】あらゆる差別の解消に向け、八女市人権・同和教育啓発センターを立花庁舎内に設置するものです。

反対討論(要旨)

現在でも、同和団体への過度な補助金支出がある中、さらにこのような政策が行われることは、

(古賀 邦彦)



市の直営施設として管理する
八女市ふるさとわらべ館

令和5年度補正予算

一般会計補正予算

【概要】

補正の内容は、36億6385万円減額するものです。ふるさと支援寄附事業や施設型給付・地域型保育事業等の増額、令和5年7月豪雨災害の復旧事業費等の減額です。

反対討論(要旨)

地域包括支援センター業務における債務負担行為が減額補正されているが、これは、業務委託から市直営とすることによるもので、直営により八女・黒木以外の地域包括支援センターが、令和6

年度以降なくなるということである。今後は支所窓口において、テレビ会議を活用し、相談業務を

するということであるが、

まともな相談ができると思えず、平坦部と山間部の格差に拍車がかかる

と思われるため反対する。

(森 茂生)

令和6年度特別会計予算

後期高齢者医療 特別会計予算

【概要】

予算総額は12億9519万2千円で、対前年度比4・8%の増となっています。

反対討論(要旨)

後期高齢者医療の保険料は2年ごとに見直されており、年々負担も増え、高齢者にとっては、暮らしにくい社会につながるため反対する。

(森 茂生)

介護保険事業費 特別会計予算

【概要】

予算総額は80億516万4千円で、対前年度比3・1%の増となっています。

反対討論(要旨)

この特別会計についても、八女市介護保険条例の一部を改正する条例の反対討論と同内容(P6参照)により反対する。

(古賀 邦彦)

請願

【本会議での討論】

《反対討論》要旨

あらゆるハラスメントの防止を求める条例の制定を求める請願
請願者 西方 美智
ほか4人
紹介議員 牛島 孝之
【請願要旨】
近年、自治体や議会におけるハラスメント行為が大きな問題となっている中、ハラスメントは人権問題であるとの認識にたち、対市民を含めた「あらゆるハラスメント」の防止を求める条例の制定を求めるもの。

《賛成討論》要旨

近年、ハラスメントが深刻な社会問題となっている中、ハラスメントのない地域社会の実現は、議会としての大きな役割である。積極的に調査研究することが必要であり、「継続審査」とすることに賛成する。
(牛島 孝之)

《反対討論》要旨

近隣自治体でもハラスメントに関する条例が制定される中、八女市においても条例を制定することで、市民への契機となり、公益につながることを考えるため反対する。
(坂本 治郎)

その結果、「継続審査」の採決が本会議で行われました。

採決の結果、賛成多数で「継続審査」となりました。

人事案件

次の方を選任することに同意しました。

固定資産評価 審査委員会委員

あらお よしもり
荒尾 好守氏

教育委員会委員

ひがし ひろおみ
東 博臣氏

次の方を適任と認めました。

人権擁護委員

いのうえ みつひろ
井上 光洋氏

しおつか みつのり
塩塚 光徳氏

しもがわ てつろう
下川 哲郎氏

まついえ とくお
松家 徳雄氏